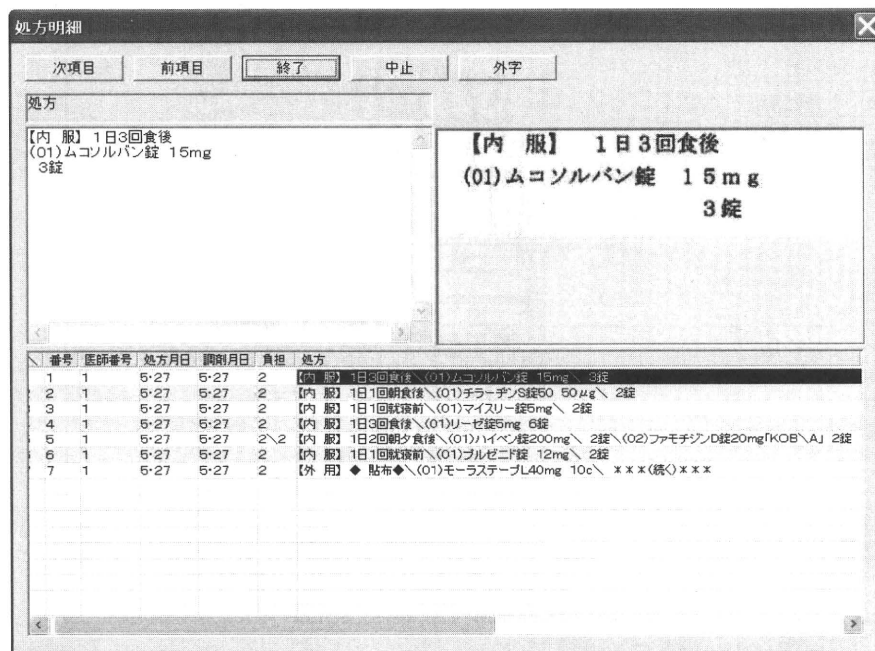


(5) 処方明細の編集

明細編集 ボタンを押下するか、全体画像表示ペインの処方明細欄をマウスで左クリックすると、処方明細の編集画面を開く事が可能である。

次項目 / **前項目** ボタンを押下するか、マウスで項目一覧ペインから項目を選択すると、項目値と元の画像が表示され、必要に応じて値を編集する事が可能である。

終了 / **中止** ボタンを押下すると元の画面に戻る。



下段の一覧では下記のキーボード操作が可能である。

	: 左の項目に移動		: 上の行に移動
	: 右の項目に移動		: 下の行に移動
	: 先頭の項目に移動		: 先頭の行に移動
	: 末尾の項目に移動		: 末尾の行に移動

(6) 項目値の保存

CSV 保存 ボタンを押下すると、ファイル保存のダイアログが表示される。

保存場所とファイル名を指定して、変換結果をファイルに保存する事が可能である。

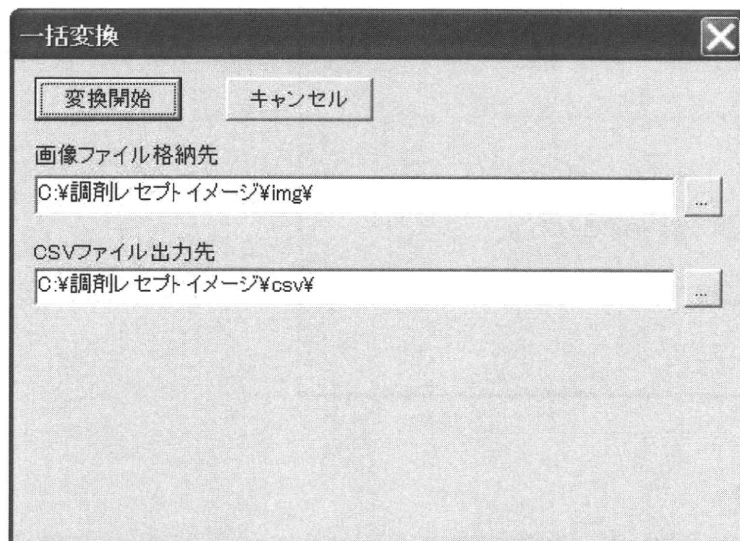


3.3. 一括変換操作

ファイル化された調剤報酬明細書の複数の画像をまとめて CSV ファイルに変換する場合の手順である。

(1) フォルダの指定

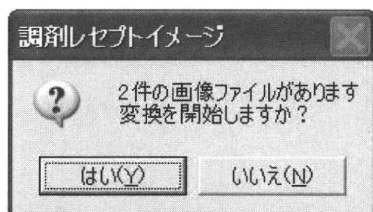
一括変換 ボタンを押下すると、一括変換ダイアログが表示されるので、画像ファイルの格納先と CSV ファイルの出力先を指定する。



(2) 変換の開始

変換開始 ボタンを押下すると、画像ファイル格納先にある画像ファイルの数が表示される。

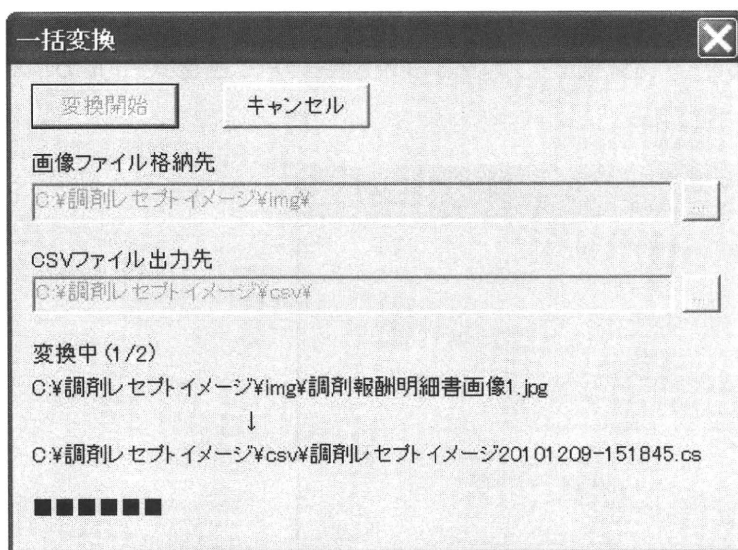
はい を選択すると変換を開始する。



(3) 変換

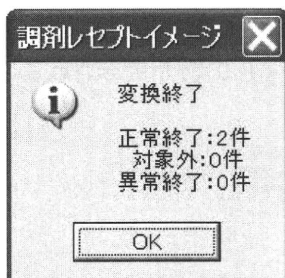
ダイアログの下部に変換の進捗状況が表示される。

キャンセルを押下して変換を中断する事が可能である。

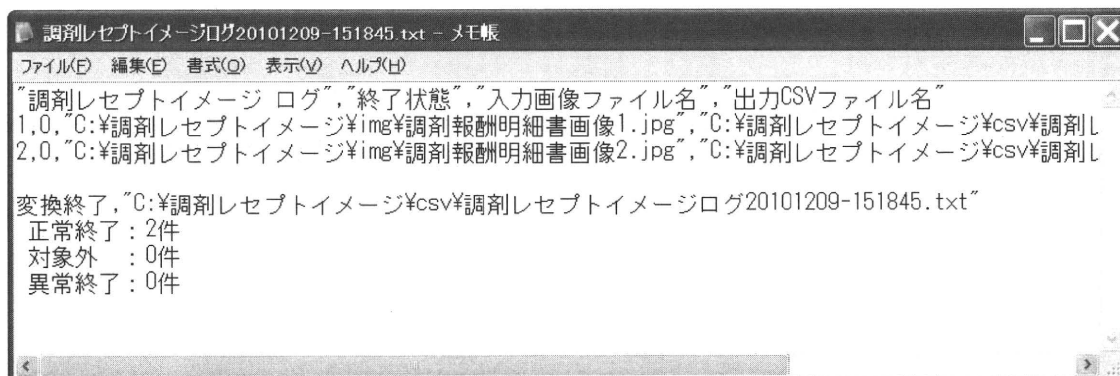


(4) 変換の終了

変換が終了すると変換結果が表示される。



変換結果の詳細は CSV ファイル出力先にログファイルとして出力される。



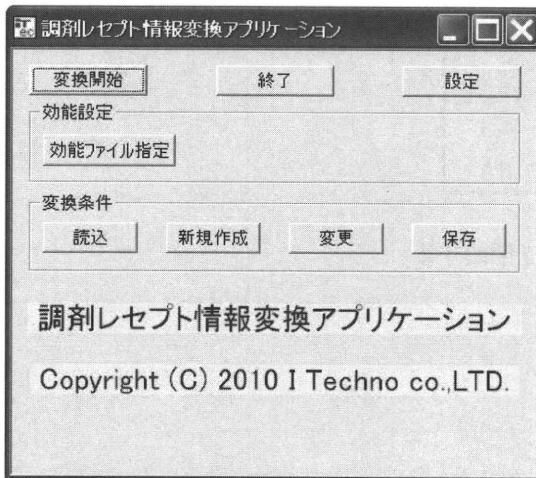
4. 調剤レセプト情報変換アプリケーション

電子化されたレセプトデータを突合に適した形式に変換するアプリケーションである。

複数ページに分けられたレセプトデータを一つに結合する事が可能である。
薬剤名に対して効能を付加して出力する事が可能である。

4.1. 起動画面

アプリケーションを起動すると下記の画面が表示される。



メインボタン

- 変換開始** : 変換を開始する
- 終了** : プログラムを終了する
- 設定** : 各種設定を行う

効能設定ボタン

- 効能ファイル指定** : 効能ファイルを指定する

変換条件ボタン

- 読込** : 作成済みの調剤レセプト情報変換条件をファイルから読み込む
- 新規作成** : 調剤レセプト情報変換条件を新規に作成する
- 変更** : 調剤レセプト情報変換条件を変更する
- 保存** : 作成/変更した調剤レセプト情報変換条件をファイルに保存する

操作手順

- ① **効能ファイル指定** ボタンを押下して効能ファイルの指定画面に移り、効能検索用の設定を行なう。
- ② **変換開始** ボタンを押下して変換の条件設定画面に移り、全ての条件を設定して変換を開始する。
- ③ 変換条件ボタンを使用して作成済みの調剤レセプト情報変換条件をファイルから読み込んだり、新規に作成する事が可能である。

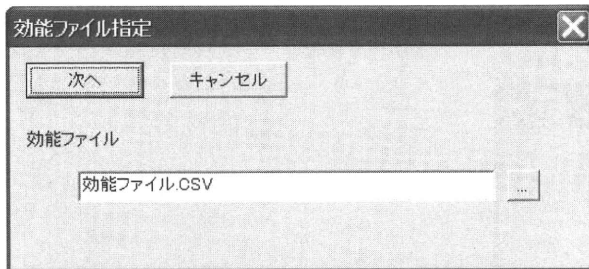
4.2. 効能ファイル指定

レセプトの医薬品名に対して該当する効能を付加して出力する事が可能である。

効能を付加する場合には、予め効能ファイルを読み込んでおき、商品名と効能を設定しておく必要がある。

(1) 効能ファイルの指定

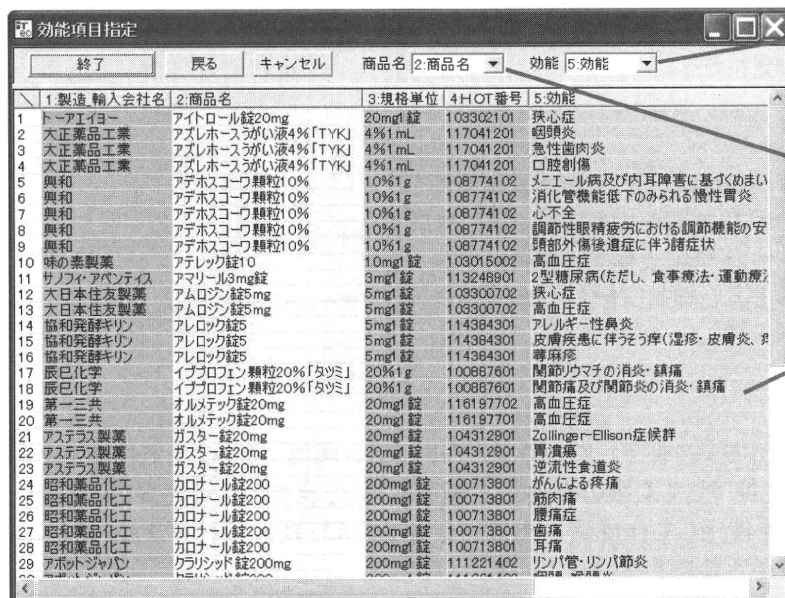
効能検索に使用するファイルを指定する。



- 次へ** : 効能ファイルの読み込みを開始する
キャンセル : 処理を中止する

(2) 効能項目の指定

効能ファイルの読み込みが完了すると、効能項目指定へと画面が切り替わり、効能検索に使用する項目を指定できる。



■ 効能に設定する項目を選択する

■ 商品名に設定する項目を選択する

■ 効能ファイルの内容を表示する

以下のマウス操作が行える

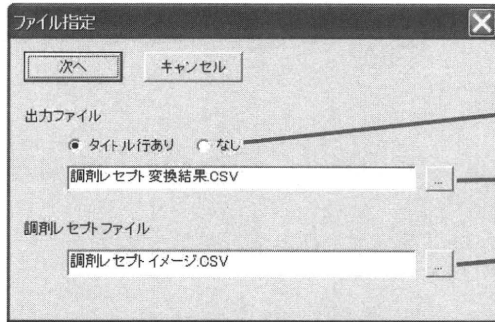
- ・左ダブルクリック: 項目を商品名に指定する
- ・右ダブルクリック: 項目を効能に指定する

- 終了** : 処理を終了する
戻る : 前の画面に戻る
キャンセル : 処理を中止する

4.3. 変換開始 画面構成

(1) ファイル指定

情報変換に使用するファイルを指定する。



■ 変換結果にタイトル行を付けるか否かを指定する

■ 変換結果として出力するファイル名を指定する

■ 変換に使用するファイル名を指定する

次へ : 変換に使用するファイルの読込を開始する
キャンセル : 変換処理を中止する

(2) 出力項目指定

変換結果としてファイルに出力する項目を指定する。



■ 効能を出力するか否かを指定する

■ 変換結果に出力する項目のイメージを表示する

水色 : 出力する項目
 灰色 : 出力から除外する項目

以下のマウス操作が可能である

・左ダブルクリック:

項目の出力/除外を切り替える

変換開始 : 変換を開始する
戻る : 前の画面に戻る
キャンセル : 変換処理を中止する
全項目を出力する : 全ての項目を出力の対象とする
全項目を出力から除外 : 全ての項目を出力の対象から除外する

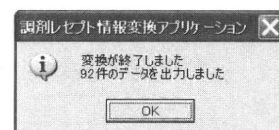
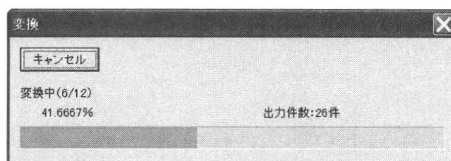
(3) 変換

・変換中表示

進捗状況と出力済みの件数を表示する

・変換終了

変換終了時に出力した件数を表示する



5. 国保データ突合アプリケーション

調剤レセプト情報変換アプリケーションの出力したレセプトデータや以下のような各種国保データの突合を行なうアプリケーションである。

- ・ 被保険者マスタ
- ・ 医科レセプト
- ・ 傷病名レセプト
- ・ 調剤レセプト
- ・ 特定健診データ
- ・ 特定保健指導データ
- ・ 健診受診者(FKAC167)
- ・ 保健指導受診者(FKAC165)
- ・ その他の CSV ファイル

突合には CSV 形式のファイルを2～3本指定可能である。

5.1. 起動画面

アプリケーションを起動すると下記の画面が表示される。



メインボタン

- | | |
|-------------|--------------|
| 突合開始 | : 突合を開始する |
| 終了 | : プログラムを終了する |
| 設定 | : 各種設定を行う |

突合条件ボタン

- | | |
|-------------|-------------------------|
| 読込 | : 作成済みの突合条件をファイルから読み込む |
| 新規作成 | : 突合条件を新規に作成する |
| 変更 | : 突合条件を変更する |
| 保存 | : 作成/変更した突合条件をファイルに保存する |

操作手順

- ① **突合開始** ボタンを押下すると突合の条件設定画面に移り、全ての条件を設定すると突合を開始する。
- ② 突合条件ボタンを使用して作成済みの突合条件をファイルから読み込んだり、新規に作成する事が可能である。

5.2. 突合

起動画面で[突合開始]を選択すると突合を開始する。

(1) ファイル指定

突合に使用するファイルを指定する。

[出力ファイル指定]

- 突合結果として出力するファイル名を指定する
- 突合結果にタイトル行を付けるか否かを指定する
- 突合結果に連続した同一内容を出力するか否かを指定する

[入力ファイル指定]

- 突合に使用するファイルのタイトル行の位置を指定する
- 突合に使用するファイルのデータ行の開始位置を指定する
- 重複出力を許可するか否かを指定する
- 突合に使用するファイルの種類を指定する
- 突合に使用するファイル名を指定する

(2) 突合条件指定

突合に使用するキーと突合条件を指定する。

条件は最大で3種類指定でき、2種以上指定した場合には AND 条件となる。

使用/未使用

- 条件1
- 条件2
- 条件3

突合キー

A: 1.個人番号	3.性別	2.生年月日
B: 8.個人番号	7.性別	(未使用)
C: 7.個人番号	6.性別	5.生年月日

突合条件

ベン図の領域をマウスで左クリックすることによって出力する領域を設定/解除する

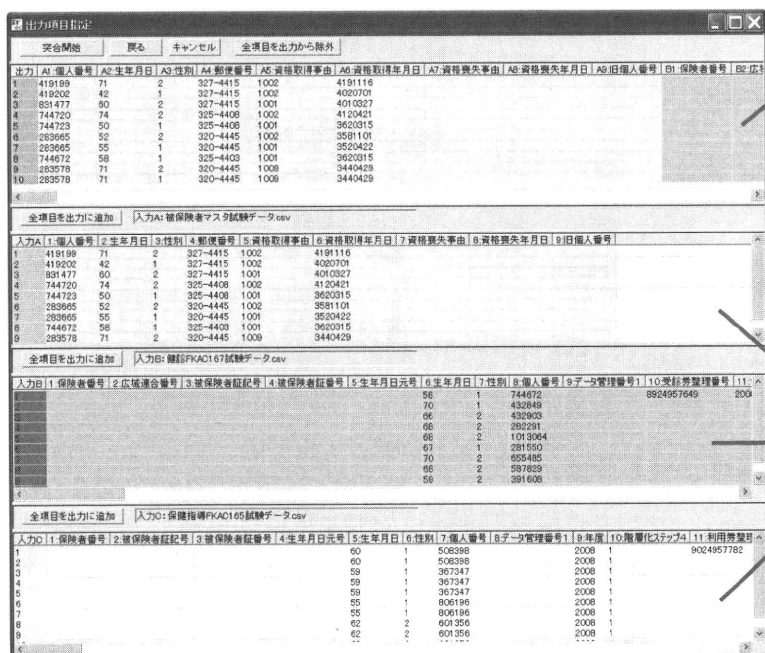
青色 : 出力設定されている領域
灰色 : 指定に矛盾がある領域

■ 突合条件を表示する

- 次へ** : 次の画面へ移動する
- 戻る** : 前の画面に戻る
- キャンセル** : 突合処理を中止する

(3) 出力項目指定

突合結果としてファイルに出力する項目を指定する。



■ 突合結果として出力する項目のイメージを表示する。

以下のマウス操作が可能である。

- ・右クリック:
カレント位置を移動する
- ・右ダブルクリック:
カレント位置の項目を削除する
- ・左クリック:
カレント位置の項目を左クリックした位置の後ろに移動する

■ 入力ファイルの内容を表示する。

以下のマウス操作が可能である。

- ・右クリック:
カレント位置を移動する
- ・左クリック:
カレント位置の項目を出力項目に追加する

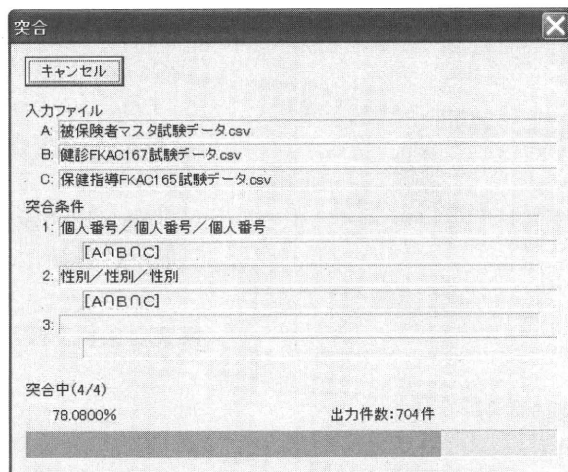
- 突合開始** : 突合を開始する
- 戻る** : 前の画面に戻る
- キャンセル** : 突合処理を中止する
- 全項目を出力から除外** : 出力項目を全て削除する
- 全項目を出力に追加** : 入力ファイルの全項目を出力に追加する

(4) 突合

突合を開始すると以下のように進捗状況と出力件数を表示する。

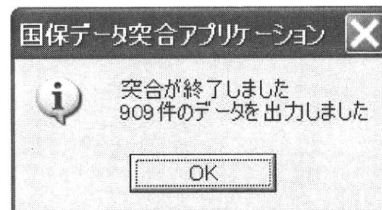
・突合中表示

進捗状況と出力済みの件数を表示する。



・突合終了

突合が終了すると出力した件数を表示する。

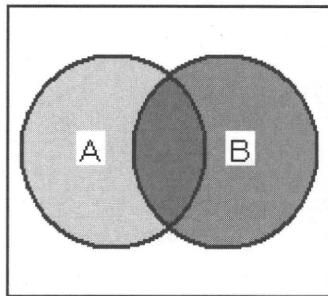


5.3. 突合条件

使用するファイルの本数に応じて、突合の条件には以下のような指定を行う事が可能である。

(1) 2ファイルの突合

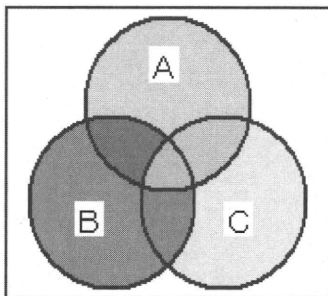
2ファイルの突合の場合には、7種類の条件から指定可能である。



- Φ	(指定不可)
1 A	Aのキー値が空白以外の場合に出力する。 Bに同一のキー値が存在する場合は結合する。
2 B	Bのキー値が空白以外の場合に出力する。 Aに同一のキー値が存在する場合は結合する。
3 A∩B	AとBのキー値が同一の場合に結合して出力する。 (キー値が空白の場合は対象外)
4 A∪B	AまたはBのキー値が空白以外の場合に出力する。 キー値が同一の場合は結合する。
5 AΔB	AとBのキー値が同一で無い場合に出力する。
6 A\B	Aのキー値と同一のキー値がBに存在しない場合に出力する。 (Aのキー値が空白の場合は対象外)
7 B\A	Bのキー値と同一のキー値がAに存在しない場合に出力する。 (Bのキー値が空白の場合は対象外)

(2) 3ファイルの突合

3ファイルの突合の場合には、127種類の条件から指定可能である。



50 (A∪C)\B	89 (A\C)∪((B∩C)\A)
51 (B∪C)\A	90 (B\A)∪((A∩C)\B)
52 (AΔB)\C	91 (B\C)∪((A∩C)\B)
53 (AΔC)\B	92 (C\A)∪((A∩B)\C)
54 (BΔC)\A	93 (C\B)∪((A∩B)\C)
55 (A∩B)∪(A∩C)	94 (A∪B∪C)\(A∩B∩C)
56 (A∩B)∪(B∩C)	95 (A∩B)∪(A∩C)∪(B∩C)
57 (A∩C)∪(B∩C)	96 ((A∪B)\C)∪(A∩B∩C)
58 (A\B)∪(B∩C)	97 ((A∪C)\B)∪(A∩B∩C)
59 (A\C)∪(B∩C)	98 ((B∪C)\A)∪(A∩B∩C)
60 (B\A)∪(A∩C)	99 ((AΔB)\C)∪(A∩B∩C)
61 (B\C)∪(A∩C)	100 ((AΔC)\B)∪(A∩B∩C)
62 (C\A)∪(A∩B)	101 ((BΔC)\A)∪(A∩B∩C)
63 (C\B)∪(A∩B)	102 (A\B)∪(A∩B∩C)
64 (AΔB)∪(A∩B∩C)	103 (B\A)∪(A∩B∩C)
65 (AΔC)∪(A∩B∩C)	104 (C\A)∪(A∩B∩C)
66 (BΔC)∪(A∩B∩C)	105 (A\A∩B∩C)∪(B\C)
67 (A∪B)\(A∩B∩C)	106 (A\A∩B∩C)∪(C\B)
68 (A∪C)\(A∩B∩C)	107 (B\A∩B∩C)∪(A\C)
69 (B∪C)\(A∩B∩C)	108 (B\A∩B∩C)∪(C\A)
70 (A\B)∪(A∩B∩C)	109 (C\A∩B∩C)∪(A\B)
71 (A\C)∪(A∩B∩C)	110 (C\A∩B∩C)∪(B\A)
72 (B\A)∪(A∩B∩C)	111 (A\B)∪(B∩C)\A
73 (B\C)∪(A∩B∩C)	112 (B\A)∪(A∩B)\C
74 (C\A)∪(A∩B∩C)	113 (C\A)∪(A∩B)\C
75 (C\B)∪(A∩B∩C)	114 ((A∩B)\C)∪(A∩C)\B
76 (A∪B∪C)\(A∩B)	115 ((A∩B)\C)∪(B∩C)\A
77 (A∪B∪C)\(A∩C)	116 ((A∩C)\B)∪(B∩C)\A
78 (A∪B∪C)\(B∩C)	117 (A\B)∪(B\A)∪(C)∪(A∩C)
79 (A\B)∪(B∩C)	118 (A\C)∪(C\A)∪(A∩B)
80 (B\A)∪(A∩C)	119 (B\A)∪(A\B)∪(B∩C)
81 (C\A)∪(A∩B)	120 (B\C)∪(C\A)∪(A∩B)
82 (A\B)∪(B\A)∪(A∩C)	121 (C\A)∪(A\B)∪(B∩C)
83 (A\C)∪(C\A)∪(A∩B)	122 (C\B)∪(B\A)∪(A∩C)
84 (B\A)∪(A\B)∪(B∩C)	123 ((A∩B)∪(A∩C)∪(B∩C))\A∩B∩C
85 (B\C)∪(C\B)∪(A∩B)	124 ((A∩B)\C)∪(C\A)∪(A∩B∩C)
86 (C\A)∪(A\B)∪(B∩C)	125 ((A∩C)\B)∪(B\A)∪(A∩B∩C)
87 (C\B)∪(B\A)∪(A∩C)	126 ((B∩C)\A)∪(A\B)∪(A∩B∩C)
88 (A\B)∪(B\A)∪(A∩C)	127 (A\B)∪(B\A)∪(C\A)∪(A∩B)
25 AΔ(B∩C)	
26 BΔ(A∩C)	
27 CΔ(A∩B)	
28 A∪(BΔC)	
29 B∪(AΔC)	
30 C∪(AΔB)	
31 A\B∪C	
32 B\A∪C	
33 C\A∪B	
34 A\A∩B∩C	
35 B\A∩B∩C	
36 C\A∩B∩C	
37 A∪(B\C)	
38 A∪(C\B)	
39 B∪(A\C)	
40 B∪(C\A)	
41 C∪(A\B)	
42 C∪(B\A)	
43 (A∪B)ΔC	
44 (A∪C)ΔB	
45 (B∪C)ΔA	
46 (A∩B)\C	
47 (A∩C)\B	
48 (B∩C)\A	
49 (A∪B)\C	

